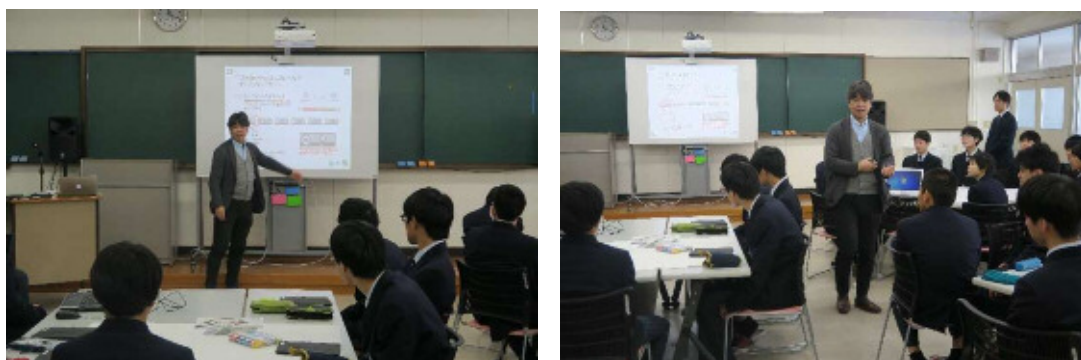


情報科学高校オープンデータの作り方授業実施報告書

- 1 事業名 「オープンデータの作り方授業」
- 2 実施日 令和2年2月7日(金) 11時5分～14時40分
- 3 会場 情報科学高校 1F ICT 教室
- 4 講師 名古屋大学 大学院情報学研究科 准教授・博士(学術) 遠藤 守 氏
- 5 開催目的 当市では、平成28年度よりオープンデータ推進事業を行っている。オープンデータは官が所有しているデータであるイメージがあるが、当市の場合は民(住民)が作成したデータも公開し、官民連携したオープンデータ推進を行っている。
当市には、ITに特化した「島根県立情報科学高等学校」が立地しており、地元高校生生徒を対象としてオープンデータの意義と、オープンデータの作成方法による情報発信、オープンデータアイデアソンを行う。

- 6 内 容 ◎第1部 オープンデータの意義について(講義)
遠藤准教授によるオープンデータの意義、著作権の関係について説明があった。



オープンデータの講義の様子

◎第2部 オープンデータの作成

政府が推奨している避難所データフォーマットを用いて、生徒が県内19市町村の避難所データを整備した。今後は島根県を通じて各市町村に働きかけてもらい、生徒が作成した避難所データについて、島根県のカatalogサイトに掲載することを予定している。(データセットの増加と、生徒の地元貢献意識の向上を図る)



データ作成の様子

◎第3部 オープンデータアイデアソン

各テーマごとにアシスタントを配置し、様々な課題をテーブル内で共有し、データで課題解決を図るアイデアソンを行った。データで解決を図ることができることの理解を目的として開催し、最後はグループごとに解決策を発表した。

テーマ1 安来の未来を考える1

アシスタント: 安来市役所 政策秘書課 主任 金田充弘

●課題

- ・観光地や宿泊場所がどこにあるか分からない。
- ・イエローバスの待ち時間が分からない。
- ・訪問介護を増やしたい。
- ・空き家数が多い。
- ・道路の除雪が効率的ではない。

●解決策、解決のためのデータなど

- ・観光地や宿泊場所の位置のデータで情報発信を行う。
- ・イエローバスの年代別利用状況データ(加えて混雑状況データなど)によるデジタルサイネージ等での表示させる。
- ・空き家データやサテライトオフィスで使える場所の一覧データを使用してマッチングシステムの開発を行う。
- ・積雪量が多い地域の降雪量・車の交通量のデータで AI に優先度を付けさせる。

テーマ2 安来の未来を考える2

アシスタント: 安来市役所 情報政策課 課長 宇名手由子

●課題

- ・時刻表と違う時間にバスが来る。
- ・飲食店や遊び場等が少ない。

●解決策、解決のためのデータなど

- ・イエローバスの時刻表、バス停データにより Google 乗り換え案内のようなアプリを作成する。
- ・安来市の飲食店などデータ、遊休地などのデータをオープンにして企業にアプリケーションを開発してもらう。

テーマ3 経済の活性化について考える

アシスタント: 市内IT事業者 tocch 代表 池田和司氏

●課題

- ・人口を増やしたい: 魅力(観光地等)が少ない。鳥取とよく間違えられる。
- ・起業するのに土地が無い。

●解決策、解決のためのデータなど

- ・特産物等のデータ、交通のデータを活用しての情報発信を行う。
- ・空き家のデータ、地価データを活用しての情報発信を行う。

テーマ4 島根県全体の活性化を考える

アシスタント: 島根県情報政策課 主任主事 広瀬研一郎氏

●課題

- ・少子化、県外流出が発生している。

- ・外国人客を効率的に誘致する。
- ・バスの利用者が少ない、利便性が悪い。
- ・高齢者の事故増加している。
- ・店や企業が少ない。

●解決策、解決のためのデータなど

- ・人口データ、将来人口を分析し、どこにどういう施設を作ると効率化になるのか検証する。企業や公園を増やし、保育園の入園費を安くする。
- ・観光地のデータを整備し、外国語対応、観光アプリを開発する。
- ・都市部の交通機関データ、バスのGPSデータで画面表示させる。
- ・交通事故が発生する場所のデータ検証で事故原因を探す。
- ・企業や就職関係のデータを公開し情報発信を行う。

テーマ5 学校の情報化について考える

アシスタント: 島根県情報科学高等学校 教諭 吉田利幸氏

●課題

- ・校則や時間割が分からない。
- ・テスト等の過去問が分からない。
- ・学校のホームページがあまり見られていない。
- ・落とし物にどんな物があるかが分からない。

●解決策、解決のためのデータなど

- ・高校のデータをネットから検索できるようにする。
- ・Googleドライブ過去問題をにデータとして保存する。
- ・メルマガ等を使って直接送ることで学校のHPを閲覧してもらう。
- ・落とし物を写真でHPに掲載する。



ワークショップの様子



各グループ発表の様子